

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

ミニカバ「タムタム」が、7月14日にニフレルを巣立ちます



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2019年2月21日にニフレルで生まれたミニカバ「タムタム」（オス、1歳4カ月）が、1歳を過ぎた頃から母親から離れている時間が長くなってきており、独り立ちの時期を迎えていると考えられることから、2020年7月14日（火）の閉館後に「神戸どうぶつ王国」（兵庫県神戸市）へ搬出することになりました。

「タムタム」はニフレルで初めて誕生したミニカバです。誕生以来、母親の「フルフル」に大切に育てられてスクスクと成長し、誕生直後6.4kgだった体重も現在は約120kgにまで育ちました。通常、ミニカバのオスは3歳で繁殖できるようになり、「タムタム」はまだ1歳4カ月ですが、繁殖適齢期を迎える前に新しい環境に慣れておくことで、将来の繁殖につなげたいとの考えから、メス1頭を飼育展示中の「神戸どうぶつ王国」へ搬出（ブリーディングローン）することといたしました。

なお、ニフレルでは、2020年2月1日より、「タムタム」1歳の誕生日を記念した「タムタムすくすくありがとう写真展」を開催中のほか、本日より、ニフレル館内や公式SNSにて、ニフレルを巣立って新しい環境で暮らす「タムタム」への応援メッセージを募集いたします。

【本件に関する取材・撮影について】

- ・「タムタム」誕生の瞬間や母親「フルフル」による微笑ましい子育ての様子など、貴重な映像のご提供が可能です。
- ・搬出当日は「タムタム」の安全を最優先とするため、撮影場所などを限定させていただき、また状況によっては撮影途中でも中止をお願いする場合があります。

お問合せ：NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前（9:00~17:30）
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



1.【ミニカバ「タムタム」について】

《性別》オス

《誕生日》2019年2月21日 AM01:26

《体重》約120kg (2020年6月9日測定)

《両親》母親:愛称「フルフル」

(6歳。2012年12月17日にシンガポール動物園で誕生)

父親:愛称「モトモト」

(5歳。2013年7月9日にチリのブイン動物園で誕生)

《愛称》一般募集による応募総数9,831通の中から、言葉の響きにかわいらしさと親しみやすさ、またパクパクさせている口からや、母親の「フルフル」の後ろについて歩く姿から聞こえてきそうな「音」であり、ニフレルのコンセプト「感性にふれる」にも共通することから決定いたしました。



誕生翌日のタムタム(2019年2月22日撮影)

2.【「タムタム」が巣立つにあたって～担当キュレーターより～】

「タムタム」が産まれる前は、出産を今か今かと待つ気疲れでヘトヘトに、誕生後は大きな感動と喜びがありましたが、すぐに「今日も元気だろうか?」「フルフルは子育てしているだろうか?」「フルフルに踏まれないだろうか?」などなど、“ミニカバラしく”なるまで毎日生きた心地がせず、生後2か月ぐらいで、やっと私が落ち着いた気がします。今思うと濃密でなが～い約1年半でした。

1歳を過ぎた頃から母親「フルフル」との関係に変化が見られはじめ、「タムタム」が順調に成長している証拠なのでうれしい限りですが、独り立ちさせることも、寂しいけれど私たちの大事な役割です。そこで、輸送中の体の負担なども考え、大阪から近い「神戸どうぶつ王国」へ送り出すことにしました。メスのミニカバを飼育されていますので、いつか「タムタム」の子供を見ることができるとも思えませんね。

私は担当キュレーター、そして獣医師として「タムタム」が「フルフル」のおなかの中にいるときから、ずっとその成長を見守ってきましたが、その役目もそろそろ終わりです。「タムタム」が巣立った後は、皆様と同じ「タムタム」のファンの一人として、その成長を見守り応援していこうと思います。

ミニカバは約30年生きるといわれており、「タムタム」の人生はまだまだこれからです。今後ともぜひ「タムタム」を応援してくださいませよう、よろしく願いいたします。

最後に、多くの方に支えられてここまで来ることができました。「タムタム」の成長を見守っていただき、心より感謝いたします。



ミニカバ担当キュレーター 村上翔輝(獣医師)



最近のフルフル(左)とタムタム(右)

3.【ミニカバについて】

ミニカバは、絶滅の恐れのある貴重な動物で、西アフリカの限られた地域に、わずか2,000～2,500頭のみが生息しています(IUCN レッドリストより)。ワシントン条約の付属書Ⅱに掲載され、世界的に保護されており、国内で飼育しているのは「タムタム」を含めて6園館13頭のみです。

4.【ブリーディングローンについて】

ニフレルと神戸どうぶつ王国の加盟する「日本動物園水族館協会」では、希少な動物は、個人や動物園・水族館の持ち物ではなく、世界共通の財産であるという考えに基づき、希少な動物を絶やさず増やしていくために、動物園や水族館同士で動物を貸し借りするブリーディングローンという制度をつくり、協力して種の保存を実行しています。ブリーディングローンの実施により、希少動物のペア飼育や群飼育が進み、たくさんの動物が繁殖に成功しています。

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～18：00 最終入館は17：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、ミュージアムショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	https://www.nifrel.jp
※ ツイッター	https://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	https://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

